



リーマン「実は私にも君と同じ年頃の娘がいるんだが、もう一年近く口を聞いていなくてね…。最後にパパと呼んでくれたのも随分前の話さ」

だ、大丈夫かい？
麗奈。。。。

う、うん
平気。。。♡

はくはく。。。♡

は

は

麗奈、立ち上がって
パパに見せてごらん

パパの方こそ、
こんなに。。。
いらばら仕過ぎよ♡

まよこ♡
まよこ♡





麗奈「……っ。アソコ、熱い…。結局、履いたまま帰って
来ちゃったもんな……」



麗奈「…す、スペック？」

フリーター「僕はさ、こう見えてネットで小説家をやっていてね。その界限じゃ、書籍作家と同列だと言っても良い大手さ」



キモチイイ！
キモチイイ！

ビッ

ウン！ウンウン！
ヤダーいやあ！
抜いて、抜きなさい！

たぶっ
たぶっ



ひぎいいい！

おおおおおお！

ブブブブ

たぶっ
たぶっ

突然、体の中を
メリメリと引き裂かれる
痛みに襲われる――！



鈴木「あ、ええっと・・・僕、山本さんの後を付けてたら」
麗奈「ちょ！？それ、ストーカーじゃない！何考えてっ」
鈴木「ち、違うよ・・・。僕にやましい気持ちは・・・」



鈴木「あ、あああ！す、すごい！オマンコ！山本さんの
オマンコっ！オマンコおっ！」